
Jack the Ripper

野火俊弥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Jack the Ripper

【Nコード】

N7614K

【作者名】

野火俊弥

【あらすじ】

ジャックは自ら美しい物を作り出さない。ただ発見しただけ

切り刻むべきして生まれたものたちの羅列そしてその繋ぎ目の鋭利な痛みを共にするひたおちる透明の血液と使い切れなかった残骸の

雑誌、小説、広告、辞書、学術書、諸々の「本」と呼ばれる紙の集合体を構成するのは全ては文章そして言葉だ。それらを作り出すという事はとても素晴らしい事だとジャックは何時も思っていたが、どうしてもこれらの言葉たちが自分に扱えるという概念はなくなってきた。朝から晩まで眺めていても飽きなかつたのは、文章が意味という意味を成さず、どちらかといえばジャックの目に入るそれらは文章ではなく絵だった、映像だった。たった一つのページを一日中眺めていることもざらだった。何故それらが美しいのかということジャックは理解できないでいたが、紙面を眺めていると色彩信号の中に溺れて深部に漂っていたら、うに静かな気持ちで居られるのでおそらく自分は本が好きなのだと思ふことにした。学校に上がると、本が好きだという事は大人たちの目から見てもオロコウな趣味らしく何やかやと褒められた。しかしジャックは文章を何一つ理解していない。「どんな本を読んでいるのか」と聞かれて返答に困ってしまうことも、しばしばだった。

ジャックの選ぶ本は多岐に及んだ。美しいと思った本は何度でも眺めた。ある日、美しい本に出会ったがそれが不味かった。流行のポルノ小説だった。敬遠なクリスチャンだった彼の母は激怒し、彼の尻を叩き、目の前でそれらの文章を虐殺した。尻の痛みよりも、目の前で行われる破壊活動のほうがジャックには衝撃だった。全ての美しい文字の羅列世界が紙屑になったのだ。泣きながら残骸を拾い集めた後、修復活動に勤しんだが元より文章を理解しないジャックが前後の文書だけで修復など出来るはずなく、途方も無いパズルゲ

ームに絶望した。机に並べた残骸を一つ一つ眺め、ため息をついた。ジャックの息により何枚かの紙屑が散った。それらを修復しようとパズルに目を向け、ジャックは美しいものを見た。何篇ものピースが散ったパズルの上、そして、机の下に落ちたピースに書かれた文章文章の繋がりと風が吹けば飛ぶ脆弱な存在。そこにジャックは震えるような感動を覚え、スケッチブックを取り出しそれらを描いた。しかし、自分で描いたものは何とも味気ないものだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7614k/>

Jack the Ripper

2010年10月22日10時07分発行